

## 18 新屋高等学校 中期ビジョン(5か年計画)

### 学校の現状や課題

- 1 基本的な生活習慣が身に付いており、問題行動が少ない
- 2 生徒の進路希望が多岐にわたっている
- 3 地域との交流活動が盛んである
- 4 部活動が盛んであり、各種大会において好成績を収めている

### 学校を取り巻く将来の状況の予測

- 1 生徒数の減少（地域の少子化）  
入学生の9割は新屋地区の中学校をはじめ秋田市内の生徒
- 2 志願者倍率の低下  
【要因】通学に不便な立地条件、競合私立高校の改築や共学化等の影響、校舎の老朽化による学習環境の劣化 等

## スクール・ポリシー

### 学校の使命《目指す学校像》

- (1) 生徒指導が行き届き、安心して学ぶことができる環境が整備された学校
- (2) 基礎学力・応用力が確実に身に付き、多様な進路実現が可能な学校
- (3) 生徒の自主活動が活発であり、地域との連携に積極的に取り組む学校
- (4) 部活動が盛んで、各種大会においても上位入賞が可能なレベルを維持する学校

### グラデュエーション・ポリシー 《目指す生徒像》

- 1 真理を希求する心身ともに健康な「知・徳・体」の調和のとれた人格の完成
- 2 「自尊 自知 自制」の校訓のもと、社会の幸福に貢献できる有為な人材の育成

### カリキュラム・ポリシー 《本校の学び》

「新屋高校 S S C プロジェクト（SDG s × STEAM × キャリア教育）」を中心とした、探究的な学習活動に重点を置き、周囲の人々と協働しながら課題解決に主体的に取り組むための資質・能力の育成を図る

### アドミッション・ポリシー 《求める生徒像》

- 1 何事にも主体的に取り組み、自己を高め社会に貢献しようとする意欲のある生徒
- 2 学業成績に優れており、各教科の学習に対して強い意欲を持つ生徒
- 3 入学後も継続して部活動に取り組み、学業と両立できる生徒

### 重点目標 『本気で挑戦し続ける新屋高校』

- 1 規律正しく行動できる心豊かな生徒を育てる
- 2 課題をもち、主体的に学習する生徒を育てる
- 3 生徒会活動と部活動の充実を図り、心身ともに健全な生徒を育てる
- 4 キャリア教育の充実を図り、自己の進路目標に真剣に取り組む生徒を育てる

### 経営方針（本校教育の基本的立場）

教育目標実現のため、「生徒の命を守り、心身ともに健全で自律性に富む人間の育成を図る」ことを本校教育の基本的立場とする。

## 5年間を通しての具体的な目標と取組

### 1 5年間で達成を目指す具体的な目標

- (1) 国公立大学合格者 30 名以上、就職決定率 100%
- (2) 部活動において、毎年複数の競技で全国大会へ出場
- (3) 年間 10 事業以上、地域との交流事業に参加または実施

### 2 目標を達成するための具体的な方法、取組等

#### (1) 生徒指導が行き届き、安心して学ぶことのできる環境が整備された学校

- ・キャリア教育の一環としての生徒指導を徹底し、社会人として必要な基本的な素養を身に付けさせる。

#### (2) 基礎学力・応用力が確実に身に付き、多様な進路実現が可能な学校

- ・「キャリア教育全体計画」に基づき、生徒、保護者の多岐にわたる進路希望に対応するための学習機会や情報の提供に努め、早期の進路目標明確化を促す。
- ・「地域と共に生きる新高生」を育てるために「3年間の進路指導ストーリー」を作成し活用する。また、キャリア手帳を持たせて、主体的な学びを記録し進路実現に活かす。
- ・ポートフォリオの作成と活用を通して生徒の学習活動を「見える化」し、PDCAサイクルの形成を促し、主体的な学びへの意欲を涵養する。
- ・探究活動と発表活動を行い、対話を通して、思考力・判断力・表現力等を高めさせる。
- ・授業や特別活動等を通して地域社会に対する理解を深めさせ、地域の活性化に貢献する意識を育てる。
- ・地域企業へのインターンシップ、社会人講師による職業講話等を実施し、職業観を学ぶとともに、自己の能力や適性に応じた進路を自ら選択できるようにする。

#### (3) 生徒の自主活動が活発で、地域との連携に積極的に取り組む学校

- ・生徒会、写真部、有志による日吉神社山王例大祭への参加、新高祭での仮装行列の地域幼稚園訪問、保育ボランティア、小学校への高校生助手派遣プログラム等の活動を行う。
- ・生徒会、吹奏楽部を中心に、栗田支援学校との交流活動の拡大を図る。
- ・有志による「ももさだ海岸」清掃活動を年 2 回実施する。
- ・学校設定科目「地域コミュニケーション」の中で地域についての学習（新屋の歴史の理解、地域企業研究、地域ボランティア活動等）を積極的に推進する。
- ・吹奏楽部による地域での演奏活動を行う。

#### (4) 部活動が盛んで、各種大会においても上位入賞が可能なレベルを維持する学校

- ・外部コーチ（卒業生、社会人）等の積極的活用を通して、継続的な強化を図る。
- ・特色選抜による入学者に対する学習支援と進路指導を行い、文武両道を実現する。
- ・学校後援会、同窓会の組織の充実と両会からの部活動に対する支援強化を依頼するとともに、部活動同窓会の充実を推進する。